

バイク王 バイクライフ研究所 『リセール・プライス』ランキングを発表 『カワサキ・Z1000』が首位獲得！

対象期間 2017年9月～11月

バイクライフの楽しさやバイク市場の動向を広く社会に発信することを目的に活動を行う『バイク王 バイクライフ研究所』（所在地：東京都港区、所長：澤篤史）は、2017年9月～11月の期間を対象に、『再び売却した際、高値の付くバイク』＝『“リセール・プライス”の高いバイク』上位10車種を発表します。

『“リセール・プライス”の高いバイク』は、需要の高いバイク、つまり『人気のあるバイク』と言い換えることもできます。23回目となる今回は「カワサキ・Z1000」が首位を獲得しました。

◇注目のニューモデル 『カワサキ・Z1000』 が1位を獲得！

◇カワサキ・VERSYS-X250 など、
ニューモデルが多くランクイン

◇前回期間に続き、軽二輪クラスが好調



※本プレスリリースに関する画像が必要な際は下記連絡先までご一報ください。

プレスリリースに関するお問い合わせ先

■株式会社バイク王&カンパニー

バイク王 バイクライフ研究所

担当：今井、萩原

TEL 03-6803-8866

E-mail bikelife_lab@8190.co.jp

東京都港区海岸 3-9-15 LOOP-X 13F

■株式会社スクランブル

プランニング局

担当：渡辺、池田

TEL 03-6894-6895 / FAX 03-5413-3050

E-mail bike-o@scramble.jp

東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

■ 総合ランキング

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	カワサキ・Z1000	79.7Pt
2	ホンダ・CBR250RR ABS	77.1Pt
3	ホンダ・CBR250RR	76.5Pt
4	カワサキ・Ninja400	76.2Pt
5	ホンダ・CRF1000L	75.1Pt
6	カワサキ・VERSYS-X250	73.3Pt
7	ヤマハ・MT-10 SP ABS	73.1Pt
8	ホンダ・クロスカブ	72.5Pt
9	カワサキ・Ninja250	71.8Pt
10	ヤマハ・YZF-R25	71.5Pt

◇対象期間 2017年9月～11月

23回目となる『リセール・プライス』ランキングは、『カワサキ・Z1000』が2位に2.6pt差を付け首位に輝きました。当車種は、第21回(対象期間：2017年3～5月)にも総合第3位にランクインしました。前回(対象期間：同6～8月)は、市場での流通台数が少なかったためランク外となりましたが、今回堂々の首位獲得となりました。

今回のランキングには、カワサキ・VERSYS-X 250が初めてランクインしました。同車種は2017年4月より販売が開始された、250ccクラスのツーリングモデルです。近年、世界的に人気上昇しているアドベンチャースタイルが特徴で、ストローク量の大きいサスペンション、マルチパーパスタイヤや大型スクリーンなど、ツーリングをより快適にする装備を纏っています。2017年モデルはメーカーの販売予想を上回る売れ行きで計画台数を完売、2018年モデルも発売されるなど、今後の動向が注目されます。

また、今回のランキングでは、トップテンのうち5車種を軽二輪クラスのモデルが占める結果となりました。維持費が比較的低価格で取り回しや足つきの良さが魅力の同クラスが、前回期間に引き続き高い需要があると考えられます。詳細は、2017年10月2日配信の『第22回 リセールプライス・ランキング』をご参照ください。(https://www.8190.co.jp/news/2017/171002.html)

2017年に発売されたモデルが中古車市場にも流通してきたなかで、今後のランキングに変化は起こるのか、引き続き『リセール・プライス』ランキングにご注目ください。

■ 排気量別ランキング上位5位

・原付一種・二種

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・クロスカブ	72.5Pt
2	ホンダ・PCX	71.2Pt
3	ホンダ・タクト・ベーシック	65.9Pt
4	カワサキ・Z125 PRO	65.5Pt
5	ヤマハ・CYGNUS-X SR	65.4Pt

・軽二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・CBR250RR ABS	77.1Pt
2	ホンダ・CBR250RR	76.5Pt
3	カワサキ・VERSYS-X 250	73.3Pt
4	カワサキ・Ninja250	71.8Pt
5	ヤマハ・YZF-R25	71.5Pt

・ 中型二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	カワサキ・Ninja400	76.2Pt
2	ヤマハ・MT-03	66.9Pt
3	カワサキ・Ninja400SP	65.7Pt
4	ホンダ・CB400 SUPERFOUR ABS	65.3Pt
5	ホンダ・CB400 SUPERFOUR	64.7Pt

・ 大型二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	カワサキ・Z1000	79.7Pt
2	ホンダ・CRF1000L	75.1Pt
3	ヤマハ・MT-10 SP ABS	73.1Pt
4	ホンダ・CB1300 SUPERFOUR	71.1Pt
5	ヤマハ・XSR900	71.0Pt

■ 『リセール・プライス』とは

バイクを再び売却(=リセール)するときの価格(=プライス)を指します。

2018年1月現在、新車で購入が可能なバイクを対象とし、オークションで売却した際の落札金額の平均値と新車販売価格を基に『リセール・プライス』をポイント化。ポイント数が高いほど、『リセール・プライス』が高いと想定できます。

本指標は、年間10.3万台(2016年11月期)の取り扱い台数を誇る『バイク王』のデータを基に、バイク王 バイクライフ研究所が独自に集計したものであり、バイクユーザーが新車あるいは中古バイクを購入する際の参考情報として活用されることを目的としています。

■ 算定基準

- ・ 国内主要4メーカーが、国内で販売しているバイク(2018年1月現在・逆輸入車を除く)
- ・ 新車販売価格は2018年1月現在の価格を基準。カラー等により価格が複数ある場合は、最安値を基準に算定
- ・ 期間内に、バイク王 バイクライフ研究所独自の規定台数に達する流通があるバイクを対象とする。

【バイク王 バイクライフ研究所について】

バイク王 バイクライフ研究所は、『バイクライフの生涯パートナー』をブランドビジョンに掲げる株式会社バイク王&カンパニーが、バイクライフの楽しさやバイク市場の動向などを広く社会に発信することを目的に、2011年8月に発足した情報発信組織です。

昨今、バイク業界は新車の販売不振や趣味嗜好性の多様化による若年層のバイク離れなど、明るいニュースに乏しい状況が続いています。

バイク王 バイクライフ研究所は、中立的な立場を意識し、専門家やユーザーの方からの意見・データを収集・集積するとともにインタラクティブな情報交換を行い、その結果をユーザーやマスメディアに向け、積極的に発信することで、バイク業界の活性化に寄与していきたいと考えています。

バイク王 バイクライフ研究所



バイク王 バイクライフ研究所
所長 澤篤史